

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 59	46	百日咳	↗ 4	2
RSウイルス感染症	→ 1	1	ヘルパンギーナ	↗ 120	49
咽頭結膜熱	↗ 24	16	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 5	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 113	68	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 606	465	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 24	19
水痘	↗ 50	45	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 111	105	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	→ 2	2
突発性発しん	↗ 49	29	クラミジア肺炎	↗ 1	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↘ 4	7

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿、菊池、有明、宇城  
手足口病：八代、水俣、宇城

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	18	1	6	44	152	14	29		18		39	2		21				1	1	2
山鹿保健所			2		34	4			2		1		*	*						
菊池保健所	17		5	23	101	5	5		7	4	24									
阿蘇保健所				1	6	3							*	*						
御船保健所					15	5						1	*	*						
八代保健所	3			5	48	3	11		5		13									
水俣保健所			1	3	7		31						*	*						2
人吉保健所	1			3	58	4	14		5				*	*						
有明保健所	15		2	7	109	8	4		4		9			3						
宇城保健所	3		5	22	50		11		2		21	1	*	*						
天草保健所	2		3	5	26	4	6		6		13	1						1		
計	59	1	24	113	606	50	111		49	4	120	5	0	24	0	0		2	1	4

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	59			1	3	4	9	4	1	3	4	2	4	12	1		5	6				
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	1		1																			
咽頭結膜熱	24		2	14	2	2	1				2		1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	113			3	1	16	16	15	16	12	11	4	13	1	5							
感染性胃腸炎	606	5	53	96	50	38	68	52	41	32	27	24	74	6	40							
水痘	50	1	5	6	11	6	5	5	4		1	2	4									
手足口病	111	2	11	39	22	16	7	7	4	3												
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	49	2	23	23	1																	
百日咳	4												3	1								
ヘルパンギーナ	120		16	39	29	23	6	1	3	1	1		3	1								
流行性耳下腺炎	5				3		1								1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	24			2		1			1						4	6	3	2	4	1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2				1														1			
クラミジア肺炎	1			1																		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4		4																			

ヘルパンギーナと手足口病に注意しましょう



今週は、ヘルパンギーナの報告が増加しました。ヘルパンギーナは、3月以降徐々に報告が増加していましたが、今週は先週の約2.5倍に増加しました。警報レベルに達した地域はないものの、特に、宇城、菊池、八代、天草で報告が多くなっていますので、注意が必要です。

手足口病は、大きな増加はなかったものの、八代、水俣、宇城が引き続き警報レベルです。ヘルパンギーナや手足口病は夏場に流行する感染症です。どちらの病気にも共通して言えますが、原因となるウイルスにはいくつかの型がありますので、何度もかかってしまうことも珍しくありません。そのため、予防対策をしっかり行いましょう。

感染経路 ※手足口病もヘルパンギーナも感染経路は同じです。

- ・飛まつ感染—咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染します。
- ・経口・接触感染—水痘のなかみや便に排出されたウイルスが手をつたい、口や眼などの粘膜に入って感染します。

予防策

- ・手足口病やヘルパンギーナにはワクチン(予防接種)はありません。
- ・外出後、食事の前、トイレの後などは手洗いやうがいをお願いします。
- ・タオルを共用することは避けましょう。
- ・おもちゃや食器などの消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。
- ・登園・登校時期については主治医に相談しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課